

「東アジア文化都市 2014 横浜」 いよいよ本格始動！



交差する、人・アート・文化

東アジア文化都市
2014横浜
Culture City of East Asia
2014.YOKOHAMA

「東アジア文化都市」事業は、日中韓文化大臣会合での合意に基づき、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、東アジアにおける多様な文化の国際発信力を高めていくことを目的に、日中韓3か国の開催都市において、現代の芸術文化、伝統文化、多彩な生活文化に関連する文化芸術イベントを実施するナショナルプロジェクトです。

7月からは、横浜市、中国泉州市、韓国光州広域市による青少年文化交流事業や砂の彫刻展などの事業がスタートしますので、その概要をご紹介します。

いよいよ本格始動する「東アジア文化都市 2014 横浜」にご注目ください！

青少年文化交流事業の実施

「青少年文化交流事業」では、横浜、泉州、光州の各都市13名ずつ総勢39名の若い感性を持つ高校生たちが、各開催都市へ赴いて、伝統文化や生活文化を実際に体験しながら交流を行い、相互理解と連帯感を深めます。

本事業に参加する高校生（対象：横浜市内在住・在学の高校生）の募集を、6月5日から25日まで行い、現在選考作業を進めています。事業の内容は次のとおりです。

1 横浜市

【開催日】7月29日（火）～8月2日（土）

【会場】市内企業研修施設他

【実施内容】ヨコハマトリエンナーレ2014視察、広報親善大使
「でんぱ組.inc」との交流等

2 中国 泉州市

【開催日】8月16日（土）～8月20日（水）

【会場】大学寮及びホームステイ（予定）

【実施内容】海上交通歴史博物館及び少林寺見学、地元の方との交流等

3 韓国 光州広域市

【開催日】8月7日（木）～8月11日（月）

【会場】大学寮（予定）

【実施内容】南道料理教室及びK-POPダンス教室体験、光州国立科学館見学等



東アジア文化都市2014横浜広報親善大使
でんぱ組.inc(写真提供:日刊スポーツ新聞社)

「ヨコハマ砂の彫刻展」作品制作開始・市民招待

7月19日（土）からスタートする「ヨコハマ砂の彫刻展」。

本展覧会で制作に携わるのは、日本・中国・韓国をはじめ、世界各国から集う9名の砂像彫刻家達。率いるは、日本では数少ないプロ砂像彫刻家・茶圓勝彦（ちゃえん かつひこ）氏。

いよいよ始まる砂像制作のコンセプト等をご紹介します。

また、本展覧会に横浜市民の皆様100組200名を招待しますので、奮ってご応募ください。



1 砂像の制作コンセプト

「日中韓・それぞれの始まりの物語」

【日本】 「ペリー来航と開国」の物語

幕末の横浜の風景、沖に停泊する黒船、西欧様式の建築など

【中国】 「万里の長城と秦の始皇帝」の物語

万里の長城、秦の始皇帝、兵馬俑、紫禁城など

【韓国】 「世宗大王（セジョンデワン）と訓民正音（フンミンジョンウン、後のハングル）の始まり」の物語

ハングルを制定した世宗大王にまつわる歴史的遺産、韓国を象徴する世界遺産など



「砂で世界旅行 東南アジア編 王に捧げる舞踏」
2013年「鳥取砂丘 砂の美術館」の作品

※制作作品は事情により変更させていただくこともあります。

2 招へい砂像彫刻家（敬称略・順不同）

【作品監修】 芸術プロデューサー 茶園 勝彦（日本）

Jihoon Choi（韓国）、邵 建新（中国）、張 偉康（中国）、楊 曆東（中国）、張 燕（中国）、
Jooheng Tan（シンガポール）、Bouke Atema（オランダ）、Leonardo Ugolini（イタリア）、
Eva Suzuko McGrew（アメリカ） 以上10名

3 市民招待

2014年東アジア文化都市実行委員会は、広く市民の皆様に本展覧会を楽しんでいただくため、無料招待（100組200名）を実施します。ぜひご応募ください。

【対象者】 横浜市内在住の方

【応募方法】 はがきに次の「必要記入事項」を記載し、日中韓砂の彫刻展事務局まで送付してください。

必要記入事項： 氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号

応募先： 〒231-0023 横浜市中区山下町1シルクセンター402

日中韓砂の彫刻展事務局 市民招待係

【応募期限】 平成26年7月31日（木）（消印有効）

【問合せ】 日中韓砂の彫刻展事務局

Tel 045-681-3734（平日10:00～17:00）

【その他】・応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

・当選者の発表は招待券の発送をもって代えさせていただきます。

・氏名・住所などの提供いただいた個人情報については、招待券の発送のためのみ使用させていただきます。これ以外の目的には、一切使用いたしません。

「東アジア文化都市2014横浜 ヨコハマ砂の彫刻展」開催概要

【会期・時間】 夏期：7月19日（土）～8月31日（日） 11:00～21:00
秋期：9月1日（月）～11月3日（月・祝） 10:00～20:00

【会場】 中区本町6丁目（北仲通南地区）
みなとみらい線馬車道駅1b出口から徒歩1分、JR桜木町駅から徒歩5分

【主催】 神奈川新聞社・2014年東アジア文化都市実行委員会

【後援】 公益社団法人横浜観光コンベンション・ビューロー、横浜市教育委員会、
神奈川県、神奈川県教育委員会、川崎市教育委員会、相模原市、
横須賀市教育委員会、公益社団法人神奈川県観光協会、tvk テレビ神奈川、
FMヨコハマ、ラジオ日本

【作品監修】 芸術プロデューサー 茶園勝彦氏

【協力】 鳥取砂丘 砂の美術館、横浜市水道局

【入場料】 大人1,200円〔前売1,000円〕、こども（中学生以下）600円〔前売500円〕

【チケット販売】 公式ホームページの他、全国の主なコンビニエンスストア等で販売。
詳しくは、公式ホームページ <http://yokohamasand.jp/> をご覧ください。

芸術プロデューサー 茶園 勝彦 氏 プロフィール

鹿児島県南さつま市出身。武蔵野美術大学卒業。
砂像彫刻家・鳥取砂丘 砂の美術館のプロデューサー。

WSSA 主催砂像世界選手権シンガポール大会にて優勝し、砂像制作が盛んなヨーロッパ、アメリカの他、中国などアジア各国も含め 25 か国のコンテスト、エキシビションに参加し入賞。2009 年「ニューズウィーク日本版」の「世界が尊敬する 100 人の日本人」に選ばれた。

《主な砂像制作》

2006 年 トリノオリンピックコマーシャル砂像制作 (イタリア)
2007 年 「東京オペラの森 2007」(小澤征爾指揮、日本)
2008、2009 年 「OSAKA 光のルネサンス」 (日本)

《総合プロデュース》

鳥取市「鳥取砂丘 砂の美術館」
鹿児島県「吹上浜砂の祭典」
2009 年 鳥取市「世界砂像フェスティバル」

その他のイベント等

上記 2 事業の他、「東アジア文化都市 2014 横浜」事業として、多彩なイベントが開催されます。詳しくは添付の「東アジア文化都市イベントガイド」又は「東アジア文化都市 2014 横浜」公式ウェブサイトをご覧ください。

【主なイベント等 (7 月～9 月開催)】

- ・オペラ「春香」
(7 月 2 日 (水) / 横浜みなとみらいホール 大ホール)
- ・新七夕伝説「星ノ舟」～新しき伝統芸能のカタチ～
(7 月 4 日 (金) / 横浜能楽堂)
- ・ヨコハマトリエンナーレ 2014 華氏 451 の芸術:世界の中心には忘却の海がある
(8 月 1 日 (金) ～11 月 3 日 (月・祝) / 横浜美術館、新港ピア (新港ふ頭展示施設))
- ・日中韓芸術祭 2014 ～ダンスで交信
(9 月 4 日 (木) / KAAT 神奈川芸術劇場ホール)

「東アジア文化都市 2014 横浜」

事業コンセプト

「横浜から共に創る新しい力」～コラボレーションがイノベーションを興す～

横浜市は、都市の賑わいづくり、経済の活性化の観点から、横浜らしい特色のある先進的な文化芸術を創造して国内外に発信し、アジアを中心に世界からアーティストが集まる文化芸術のハブ都市を目指しています。

「東アジア文化都市 2014 横浜」では、開港以来横浜が培ってきた創造性を発揮しながら、つぎの 3 つをテーマに事業を進めます。

- (1) 横浜ならではの魅力や文化的資産の活用
- (2) 中国・韓国を始めとする東アジア諸国や国内他都市との交流・協働
- (3) 相互の文化に親しみ賑わいを創出

開催概要

【開催期間】 2014 年 2 月～12 月 (9 月～10 月をコア期間とします)

【会場】 創造界隈拠点など横浜市内各所

【主催】 2014 年東アジア文化都市実行委員会のほか、事業ごとに異なります。

『東アジア文化都市 2014 横浜』公式ウェブサイト

URL : <http://culturecity-eastasia.jp>

東アジア 横浜

検索

お問合せ先

文化観光局創造都市推進課東アジア文化都市担当課長 松元 公良 Tel 045-671-4203

